

あおぞら八重垣デイサービスセンター運営規程

(事業の目的)

第1条 株式会社ケアガイドが運営するあおぞら八重垣デイサービスセンター(以下「事業所」という。)が行う指定地域密着型通所介護及び指定第1号通所事業(以下「事業」という。)の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の生活相談員、機能訓練指導員及び介護職員が、要介護状態(指定第1号通所事業にあつては要支援状態)にある高齢者に対し、適正な指定地域密着型通所介護及び指定第1号通所事業を提供することを目的とする。

(運営の方針)

第2条 指定地域密着型通所介護の提供にあつては、要介護者の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練の援助を行うことによつて、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。

2 指定第1号通所事業の提供にあつては、要支援状態者が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持回復を図り、もつて利用者の生活機能の維持又は向上を目指すものとする。

3 事業の実施にあつては、関係市町村、地域包括支援センター、居宅介護支援事業者、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。

4 事業所では、「理解と受容、発達保障、情報公開」の基本理念と、「わがまを言ってください、きれいになってください、たのしんでください」との三つのお約束を掲げ、利用者の人格を尊重し、常に利用者の立場に立つた、利用者が必要とする適切なサービスを提供します。

(事業所の名称等)

第3条 事業を行う事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

- ① 名称 あおぞら八重垣デイサービスセンター
- ② 所在地 島根県松江市上乃木二丁目27番20号

(職員の職種、員数及び職務の内容)

第4条 事業所に勤務する職種、員数及び職務の内容は次のとおりとする。

- ① 管理者 1名(常勤)

管理者は、事業所の従業者の管理及び業務の管理を一元的に行う。

- ② 従業者

生活相談員 2名(介護職員兼務1名、非常勤1名)

介護職員 2名

機能訓練指導員 2名(非常勤1名)

従業者は、指定地域密着型通所介護及び指定第1号通所事業の提供に当たる。

(営業日及び営業時間)

第5条 事業所の営業日及び営業時間は、次のとおりとする。

- ① 営業日 月曜日から金曜日までとする。ただし、国民の休日及び12月29日から1月3日までを除く。

- ③ 営業時間 午前8時30分から午後5時30分までとする。

- ④ サービス提供時間 午前9時00分から午前12時00分及び午後1時30分から午後4時30分までとする。

(指定地域密着型通所介護及び指定第1号通所事業の利用定員)

第6条 指定地域密着型通所介護及び指定第1号通所事業の利用定員は次のとおりとする。

- 1単位 10名

(指定地域密着型通所介護及び指定第1号通所事業の内容及び利用料等)

第7条 指定地域密着型通所介護及び指定第1号通所事業の内容は次のとおりとし、指定地域密着型通所介

護及び指定第1号通所事業を提供した場合の利用料の額は、介護報酬の告示上の額とし、当該指定地域密着型通所介護及び指定第1号通所事業が法定代理受領サービスであるときは、介護報酬告示上の額に各利用者の介護保険負担割合証に記載された負担割合を乗じた額とする。

- ① 日常生活動作の機能訓練
- ② 健康チェック
- ③ 送迎
- ④ アクティビティ(介護予防)

- 2 第9条の通常の事業の実施地域を越えて行う指定地域密着型通所介護及び指定第1号通所事業に要した送迎の費用は、通常の事業の実施地域を越えた地点から、1キロメートルあたり50円徴収する。
- 3 おむつ代は、実費を徴収する。
- 4 日常生活において通常必要となる費用で利用者が負担すべき費用は、実費を徴収する。
- 5 前各項の費用の支払いを受ける場合には、利用者又はその家族に対して事前に文書で説明をした上で、支払いに同意する旨の文書に署名(記名押印)を受けることとする。

(緊急時等における対応方法)

第8条 従業者は、指定地域密着型通所介護及び指定第1号通所事業の提供を行っているときに、利用者に病状の急変、その他緊急事態が生じたときは、速やかに主治の医師等に連絡する等の措置を講じ、管理者に報告しなければならない

(通常の事業の実施地域)

第9条 通常の事業の実施地域は、松江市の区域とする。

(サービスの利用に当たっての留意事項)

第10条 従業者は、利用者に対して従業員の指示に従ってサービス提供を受けてもらうよう指示を行う。

2 従業者は、事前に利用者に対して次の点に留意するよう指示を行う。

- ① 気分が悪くなったときはすみやかに申し出る。
- ② 共有の施設・設備は他の迷惑にならないよう利用する。
- ③ 時間に遅れた場合は、送迎サービスが受けられない場合がある。

(非常災害対策)

第11条 事業所は、防火管理についての責任者を定め、非常災害に関する防災計画を作成し、非常災害に備えるため、定期的に避難・救出等訓練を行う。

(運営推進会議)

第12条 地域密着型通所介護においては、6か月に1度運営推進会議を行い、活動状況の報告、運営推進会議による評価を受けるとともに必要な要望、助言等を聴く場を設置する。参加者は市職員又は地域包括支援センター職員と地域の代表者と参加を希望する利用者または利用者の家族とする。

(その他運営についての留意事項)

第13条 事業所は、従業者の質的向上を図るための研修の機会を次のとおり設けるものとし、また、業務体制を整備する。

- ① 採用時研修 採用後3か月以内
 - ② 継続研修 年2回
- 2 従業者は業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持する。
 - 3 従業者であった者に、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持させるため、従業者でなくなった後においてもこれらの秘密を保持すべき旨を、従業者との雇用契約の内容に含むものとする。
 - 4 この規程に定める事項のほか、運営に関する重要事項は株式会社ケアガイドと事業所の管理者との協議に基づいて定めるものとする。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。